

## 5月15日（金）国際協力に関する講演会（上智大学 曄道佳明教授）

- 日時 平成27年5月15日（金）15:30～17:00
- 演題 「国際協力、国際機関への道」
- 講師 上智大学理工学部 曄道佳明 教授



[上智大学曄道教授による講義]



[さまざまな視点から質問する生徒たち]

### 【生徒の感想】

「国際協力はボランティア活動だけでは成り立たない」という言葉が印象的だった。国際協力とは複雑で立体的なものであり、さまざまな道から学び、協力していけるということが分かった良い機会になった。これから昭和女子大中高部で学んでいく中で、自分の専門性を磨き、どうしたら国際協力ができるのかということ、ローカルな視点とグローバルな視点から考えていきたい。

### 【御講演内容】

#### □自己紹介・経歴

#### □なぜ国際協力、国際機関なのか

#### □どうしたら国際協力の道が開けるのか

- ・ 国際協力へのアプローチは多様である。
- ・ 国際協力を立体的にとらえ、多面性、構造を整理すべきである。

#### □グローバル人材に必要な資質

- ・ ローカルな視点とグローバルな視野が必要である。
- ・ 深い専門性をバックグラウンドに、国際協力を携わる方策を自ら設計すべきである。

#### □夢は発展、展開、変化するもの

- ・ グローバル社会はダイナミックに変貌を遂げていく過渡期であり、国際協力の在り方も、5年後、10年後には新しい方法論が議論される。
- ・ 今持っている夢も大切にしつつ、社会の変動にも柔軟な対応をするべきである。

#### □上智大学の取り組みについて

### 【生徒からの質問内容】

- ・ 紛争と貧困に対して、日本として武力を持たずにアプローチする方法は？
- ・ 宇宙開発における国際協力について詳しく教えてほしい。
- ・ ネパールの地震への上智大学としての支援・貢献はどのような形であったのか？
- ・ 先生が考える5年後の日本は？
- ・ グローバルで活躍するにあたって、女性だからこそ持っている力や資質は？